

第3回 第39回日本診療放射線技師学術大会 (39th JCRT)
 第30回東アジア学術交流大会 (30th EACRT)



熊本への道 Go To KUMAMOTO

副大会長 田上 真之介
 (一般社団法人熊本県放射線技師会 副会長)

会場周辺の観光施設

前回、皆さまをお迎える会場について紹介がありました。前述の通り、第39回日本診療放射線技師学術大会の会場である熊本城ホールは、熊本桜町バスターミナルに直結しているため県内のさまざまなエリアへアクセスの良い施設です。今回は会場周辺の徒歩5分圏内の観光施設について紹介したいと思います。

まず、最もメジャーな施設は熊本城です。熊本地震で大きな被害を受け、6年が経過した現在も復興の途中であり、崩壊した石垣を眼下に眺めることができます。画像は被災直後の熊本城です。当時は全てのエリアが立ち入り禁止となっていたため、隣接の二の丸公園から撮影したものです。現在は復旧工事の様子を見学できる特別見学通路が設置されており、復興作業が完了すれば二度と見ることでできない姿を間近に見学することができます。痛々しい姿ではありますが、力強く崩れずに堪えている姿をぜひ一度ご覧ください。

熊本城の麓には「桜の馬場 ^{しょうさいえん}城彩苑」という観光施設があります。熊本の特産品の食べ歩きやお食事・お土産処ですので、学会の休憩時間に散策されてはいかがでしょうか。

少し足を延ばすと、童謡(童歌)で有名な「あんたがたどこさ」に登場する ^{せんぼし}船場橋(洗馬橋)があります。あまりメジャーではないスポットですので、狸の像との記念撮影なども楽しめると思います。すぐそばの熊本中央郵便局のポストの上にも狸像が鎮座しており、季節に応じた衣装を着ています。その衣装は郵便局員さんがボランティアで制作されているそうですので、学会開催期間の衣装をお楽しみください。

今回の学会は、Web開催と現地開催のハイブリッド開催で、国際セッションや情報交換会も久しぶりに開催する予定です。感染状況に伴い計画の変更を余儀なくされる可能性はありますが、実行委員一同、熊本は楽しかったなぁと感じていただけるような学会になるよう準備してまいりますので、ぜひとも現地熊本にお越しください。多くの皆さまに目に掛かることを、実行委員一同、楽しみにしております。

